か機で日赤力自揚はに携を

むるす京をし隱政

をしては最い を対すの反省を対すのを を対するのでは、帝 で変があるのでは、帝 で変があるのでは、帝 で変がなるのでは、帝 で変がなるのでは、帝 で変がなるのでは、帝 で変がなるのでは、帝

中港海省一氏(汽車製造會 一門國都ネテル 中国都ネテル では長生氏(補別電級事務)

往 來

文郎氏(味の素)同 直氏(同)同 直氏(同)同

ま感想いか

K

(同)同

摩されて、こ ^ ろもそらの昨日一機落ち更に根繰地を

の暗いさほりをさほり。 用から田端の方へで まから田端の方へで は変変を

実かな大氣を とば、艦球大會!

初秋に転け

い出物権にはいり、古い材木 をさほりそれから、小し小高 をさほりそれから、小し小高

『なにをぼ

造氏(泰東日報支配

関内統一をやつた介石君、い

、既定方針に變更なきも行動は自らこの事態に添はざる可からずとの見地に立ち、大の膠明あくまで東洋平和のため事態の擴大を防ぎ態ふ限り儀性を少くして東洋平和の根本を固めいてかくの如く國際信義を無視し暴戻の限りを盡し、言語同断なる血迷へる行動に出げるいてかくの如く國際信義を無視し暴戻の限りを盡し、言語同断なる血迷へる行動に出げるおくまで東洋平和の根本を固める。

海においては遠にわって砲火を閉き帝國を軽傷して法撃を加へる が居園民の生命財産が居園民の生命財産が居園民の生命財産が活動した。 が居園民の生命財産が活動した。 が居園民の生命財産が活動した。 がは、かくの如く支那

スポーイング 職間において 敵機は

ツブ小型爆撃機は

5243

41

0

日

で、断手として採るわが手段で、断手として採るわが手段

魔堂だっ 一

『さあ、今晩はこれで脳タク

なれの書書らしい部屋にさほへてたれもあない原でを、は

ほは》

**阪東婆三郎主演** 

新京キネマ

田は、さつさざ『空車』のサ

ホールにおくりつけるさ

『おい、おまっ れをつゝんだ。

4

つばらつた単生の客を、ダ

八時をすぎ

新聞紙をだしてくるくこそでは、無知は、ギケットから

り 恐怖の 桑港 原名 バーバリコースト

(請負業)同

欧調そのまと

ぞこの時と……高鳴る園民

一部の

建草にでもゆくのか

・ つた。
・ つた。
・ つた。
・ でい に が べっに ぜい たくではない が さつばり ご 気の きいた 小 部屋・

11.00 3.10

5.30

2.55 7.10

一十歳前後の方、

後の方、本

豊樂劇場

7.20

11-18

『ふん、調章なんて、くそお

車は浅草の方にはそれず、

がはつい

をまつすぐにぬけ、

『まあ、す 審田は、ごかり椅

0

カラ

京キネラ

町の方にぐん」

一の方にぐん」(さばしはじ

前一時散會。

(日、唯

A)

【上海十五日發調通】今隣の ・ 八字橋北部方面の敵はわ ・ 八字橋北部方面の敵はわ ・ 八字橋北部方面の敵はわ

がの、摩、複

が方は資々増援中、敵はわの情報あつたが増援なくわ、敵の増派都際來援するとの情報あつたが増援なくわの情報を受けると、東部部隊、開北方面は銃

が方の猛撃におそれて沈默が方の猛撃に陥ったが、何等損害を受けなかったが、何等損害を受けなかったが、何等損害を受けなかったが、何等損害を受けなかったが、何等損害を受けなかった。

でる日で、

職闘開始してより死

個で十少

下版の側の

(総で収調べ中で\*

天ざしし後の『東

▲町田有氏(日本航空)同

▲松永茂氏(イリス商會)同

▲協林成雄氏(日本北次ルプ)
同本が開発して、(日本北次ルプ)同

本高原武一氏(日本北皮加工商會)同

本高原武一氏(商業)同

本高原武一氏(高業)同

本高原武一氏(南薬)同

本高原武子氏(商業)同

本高原武子氏(高薬)同

本高原武子氏(高薬)同

本高原武子氏(高薬)同

本高原武子氏(高薬)同

氏(商業)同富士

ってやるはすだったな

どこへつれ

こなかつた。

眞田十勇

高檢是清

9.34

(節篇)

配せずについてこい。

Ù

のしてある石の上でく

うち水

ゆくのだい?」

四本洋雕氏(商業)同富士 (日本毛皮加工

は大の如く

曉

中の閉臓に

右事態に應じて速かに臨時職としての重大決意を固めたが、しての重大決意を固めたが、

七次

式に決定する段取りである

十四日の支那軍爆撃は租界に多大の損害と不安を興へた。右は○○監が租界負近な一原因となると認められる。ことが軍要な一原因となると認められる。ついては租界の安全のため等處ありたいため等處ありたい。

在濟南、廣東邦

揚げ命令

|岡村威雄氏(日蒲パルブ)||松永茂氏(イリス商會)同町田有氏(日本航空)同

一長官は左の如

爆破した

庫並

に飛行機计數臺を爆破したが、更に十五日未明再び杭州の懸橋飛行場を爆撃し敵機廿機两十五日發國通」わが空軍は十四日午後長驅支那軍の背後を衝き杭州、廣德にある敵格

を納

公の如き申入れをなし 中径長谷川司令長官 の知き申入れをなし

羨の勇者

婚的三羽鳥

0

座

包

12.00 3.41 7.22

1-15 1-56 8-37

3.32 8.05

11-4( 4-12 8-46

してよ嘆

北支事變ニュース質嶋勳動

阪東妻三郎主演

階下 六十錢

Ш

同

發

谷川司令長官領事團

置を動

か

ず

京 部

0

南方約

戸外飛行機敷機を爆破し、廣徳においてはさらに大なる損害を敵に與へ出十哩)に對して果敢なる爆撃を敢行した、杭州においては敵機四機を四日午後颱風區域を突破して長驅支那軍の背後を衝きその航空根據地杭団十五日午前四時卅分海軍省發表=暴戾なる支那飛行機の採暖に對する

が軍

艦は

自衛

お

よび戸

派

橋

飛行場

を爆撃

敵機二十

〔東京國通〕 除は、

行海

格 Ti.

午前四時卅分海軍省發表=暴戾なる支那飛行機飛行機二十數臺を撃破した、我に損害なし至急報〕十四日午後わが空中部隊は敵の空軍根は

空軍根據率杭州、

廣徳などに爆撃

三譜裡方面でも東機關銃の銃の氣源つてゐる、なは八字橋の氣源つてゐる、なは八字橋

視明こと

の直述つた暴戻に對して外人 と 「上海十五日発閥通」支那軍 名

・敷台を撃

がで爆電府へ全、撃爆機上

上 職十四日發國通一南京政 「原本の等」とが萬人の等しく看取せる とが萬人の等しく看取せる とが萬人の等しく看取せる とが萬人の等しく看取せる

機の血法つた暴臭に對して外人と報じ激情してゐる。 「上海十五日發閥通」支那軍 名:負傷者約六百名を出した 一支那軍の暴戾に 一支那軍の暴戾に 一支那軍の暴戾に 一支那軍の暴戾に 一支那軍の暴戾に 一支那軍の暴戾に 名、負傷者八百二十一名、共 名、負傷者八百二十一名、共 名、負傷者八百二十一名、共 名、負傷者八百二十一名、共 名、負傷者八百二十一名、共 名、負傷者八百二十一名、共 名、負傷者八百二十一名、共 名、負傷者八百二十一名、共

## T II \* 9 刊 日五十月八

H

品一 グターコッキ 社合油灣根丸

青島支那銀行 全部休業 交那各銀行に追従し青島支那 変那各銀行に追従し青島支那

は午後七時までに判別せるも は午後七時までに判別せるも による在支日本人紡績の被害

の左の如し 一、公大第一工場は午崩中 回の空襲で支那人社宅大部 日間民二名、負傷者十數名 午後の再爆撃で工場の一部 に命中の機様なるも詳細不 に命中の機様なるも詳細不

旨射ちの爆撃を

本軍ミ誣

逆宣傳開

落下、

不破壞の程度本紡は異狀なし

六五四 窓、東東国と破て大傷のの が東東国した契機康なの ラ洋華華 なれるも被害軽微、死れるも被害軽微、死になり、大変には一動の空襲によいない。

の機械破損、被害軽微で工場の一部に命中、

10

(2)

貸家御案內

本日の空

白

田

真里

るで、車はびたりでま

への兄童は、その娘にたいして、なんだか遠大な評価をもつてゐるさいふわけではないらしいじやないか。 (大五) なんだ。 対象のない変事をするな。おれがついてゐるじ への兄貴は、その娘ここと 『さあ、おりろ、おりろ』 変失をおひだすやうにして 変大をおひだすやうにして

で、その話はうちきりに こつちもあわてずにゆつく はうちきりにして ながらついてゆくさ、露地のかきごまりのちよつさ気のきへにてたっちょっさ気のきへに あるいてゆく。 まがり **、先になつて、篠田は** 

思さ

●屋内電氣工事の設計監督は ●屋内電氣工事の設計監督は ●展示電点に供輸し難いことが御 では他廣告サインの考案設計 職業用電熱の採算・家庭用 電氣器具の使ひ方等に就て の獅相談に塵じますから の獅相談に塵じますから の獅相談に塵じますから の獅相談に塵じますから の獅相談に塵じますから

でなだ?」 玄関に灯がついて、 女のこえがした。 **『こんばんは』** 

仕事だ仕事だ』 やつご身支度をしてたちあがった秀夫をはげましながら 篠田は車にのりこませた。 思ひだしたやうにいつた。 『さうだわすれてゐた。今夜 おまへをいゝこころへつれて

後田は目分を古川さなのつ

造闡請負貸金載園郷一切

樹皂

電業相談所

間を関

12.00

1.17

2017 605.

8.32 9.49 11-07 十四日より十九日まで

新京寺李

ちゃつきり金太鷺 北支ニュース

ローズボール

3.00 6.50 12.30 4.10 8.05 1.30 5.25 10.408

電気御

相談

豆 楽劇場 京内

画本 I

日より18日ま

映岸

川順平氏は別項の如き祈願へ長矢澤邦彦氏代理副會長

勢熱す

す西

袁

青空に映

の總長盃爭

何れ(の成績)

仰ぎ校康の下に整列し

非げて武運長久を新る、大で がけて武運長久を新る、大で 利ば一同は中學校喇叭手の吹 奏する喇叭に和し最敬禮、こ た終了一同解散、終つて淵川 た終了一同解散、終つて淵川

オール等京が

歌式庭球大會は残凉の西公園コーッに魁けて本社が贈る白球饗宴ー

鼠東局 4.23

察

である

尚は午前中の成績は左の通り

務 銀▲ 〈4-0〉 満 與 銀B 〈4-0〉 治 (4-0) 治

安心 炭部 B 第で建設工事に着手すること 月初旬を期して二ケ年繼續事 日本場たのでいよく 今秋九

日下問題となつてるるのは日下問題となってるるのは日下問題となってるるが、何禄一ヶ折値中であるが、何禄一ヶ折値中であるが、何禄一ヶ折値中であるが、何禄一ヶ折値を要することよて市近地域を要することよて市近時には適常な土地がなく行地域を要することよりであるのは

**敷洗鰕戦員1入れ有ひ**容揚工員のトナて力は

電

への社葬

電々通州殉職社員鈴木丁一

弟で紙を賣り

見童や

看護婦さんか

(=)

國都斷京における構鐵經營初、中等學校兒童生徒職員は八月十五日の吉日をトして故元帥 に集ふ十三校 今や全支に亘つて陸海空軍は戦

武麟信能以下二千八百有餘柱の薩國の英鹽眠れる忠靈塔の前に集ひ皇軍の武運長久祈願祭を催した 極東平和のためわが皇軍が正義のてを北支に進めて弦に月餘、暴戾飽なき

数ニ本日ットシ 是軍ノ武運長久ナランコト 同八忠靈格下 學校職員兒童生徒 前二会集シ陸 在新京滿錢

新京附屬地教育會昭和十二年八月十五 矢釋邦音

五日

Fには紙質り返したものも 司託献金慰問袋は左の如く 単への赤誠相題ぎ昨夜の本

本十五日午前中、市内常経町 大田小見料整院長の長女美子さん(二才) え女三笑 美子さん(二才) え女三笑 美子さん(二才) え女三笑 美子さん(二才) は女中さん に連れられて來赴、美美子 さじく貯金から金工費では女中さん が「て頂戴と置いて慶つた が「で頂戴と置いて慶つた が「本君の兄弟は特で紙雲 りして集めたといふ金五世間 りして集めたといふ金五世間 りして東めたといふ金五世間 りして東めたといふ金五世間 りにある。

馬車收容所

が和合員の生活向上と馬匹及 適富の地二ヶ所を選びこへに首都業用馬車人力卓營業組合 び車鎧の政善を目的に特別市首都業用馬車人力車營業組合 び車鎧の政善を目的に特別市

出を、僕は新京の町に居ますのであまり外へ出たこの前がありませんでしたこの前がありませんではたこの前がありませんではたこの前がありませんではない少年少女か園に立つてした、そこで日本標道とで日本ではかながこれでではから町へ弟と二人で質つてたまりました。わづかではまったのでは最近してあるがこれだもなんへ上げて下さいお金にしますであるがこれだもなんへ上げて下さいお金にしますであるがこれだもなんへ上げて下さいお金にしますであるがこれだもない。 新京日日新聞社**卸中** 光

郵便周

大會の幕を切つて落した 大きの第一回戦を皮切りに剣 院の第一回戦を皮切りに剣 院の第一回戦を皮切りに剣 院の第一回戦を皮切りに剣 盗まる

七日から本月十四日まで病院一八號森本春江さんは去月十 附添婦御難

あた錦承線は十四日午後漸く の長らく列車は不通となって 復奮した

年齢十六七才より二十才位まで、委補面談 年齢十六七才より二十才位まで、委補面談

松井少佐着任

馬車内の忘れ物

械 商 地 〇

一(2) 話電

難り御禮申上候御高配ヲ辱フシ御弔辭御供物ヲ賜ハリ有本嘉右衛門儀祉葬執行ニ際シテハ多大ノ弊社殉職社員故古田唯四郎、鈴木樹二、松 昭和十二年八月十五日 萬端滯り無ク相濟マセ申候間不取敢以紙 滿洲電信電話蛛會社 葬儀委員長 井



宫

郵便局B 始』 滿燥 經濟部人 と試合開

とりあへず電話を假設した番 とりあへず電話を假設した番 所電話假設 寶山百貨店事務 務館の竣工を見たので

第京中央領 (研京神社館)

者か表入口の南京錠を破壊して侵入し錦沙漕物外三十監時 個を碧取されたるを十四日鷗 ので変見、青くなつて領警署に を変見、青くなつて領警署に を変見、青くなつて領警署に

龍攘虎搏

劍氣

十五日弘道館落成式を兼り

新京劍道大會開く

は本大會に一段の生彩を添っ

大同學院、内務局、中銀、日本館落成式を兼ねて十五日正年的書館遺場に決て盛大に學行された、参加團體は消儀

まわしい問題が

或は伏在か

符月の抱妓家出頻々に鑑み

當局嚴重調查?

を領警署員に競見された

藤江少將

十五日發赴任

大臣、参議、大使館、関東局で在京陸海軍将是補州國各部で在京陸海軍将是補州國各部で在京陸海軍将是補州國各部

◆簡関點呼第十三日 あす(十六日) E

本七・三〇國民歌謠『行けよ 本人・三〇國民歌謠『行けよ 大東京》指道計園玉本へ・三 五短歌朗詠(大阪)柳田新太 「東京)悟道計園玉本へ・三 五短歌朗詠(大阪)柳田新太 「東京)悟道計園玉本へ・三 五短歌朗詠(大阪)柳田新太 今晩の主なる演器放送

- 闘東崎、第二コート警察ソンスだ、第一コート警察

**参判長試合上の注** の優勝旗返還式 の優勝旗返還式



至急飲食店譲る

が市民音

樂

會

北北橋

語が木

3 \* IJ

Ξ

0

場所新京大和通り四七角家

・専門店に好適なり右店舗(造作現 喫茶店・おでん屋・又はライスカレ

急格安にて譲り度し希望の方は電② 三五五四番(高橋)まて御照會を乞ふ

T 生

金

銀高價

金銀賣買は専門店の

共立金銀

報知次第店員參上報知次第店員參上

食堂に→・喫茶店に→・カフェーに→ 々御利用下さ

運動會・園遊會バザー等には輕便な紙カツブ人 で何千人前でも御注文に應じます。

り給午五 - 後本人來談 大桑 グリ 人を求

行された。在京各機関からの供花は祭場せまし

◎ **國東軍會謀長代**選田中交通監督

て井上維務部長灘機委員長となり、

しめやかに 日間堂にて

長となり、いとしめやかに執め三氏の証據は十五日午後 二時より電々本社講覧に於

表、國防婦人會在京全社員参列崩々と讃まれ

同凝を強たにし午後三時半

岡本同副局長、宮本開東遞信局總務課長ほか特殊會社

に應ず本人直接御來談のこと年齢を問ず給料其他面談の上御相談 女中女給事

1 (a) に収 入 あ

せへ

小學生は二年より練習出來ま 大和通り四二(漸纖 一番う 7 教

十六日

(第三月曜日)

Ħ

に

付

**年勝手休業させて頂きます** 

を戴いて居ります何卒益々御愛用の程をし體裁の優美と堅牢持久を誇る「バーチャ」

は旣に定評

室町二丁目(公學校前)

メミ、ストツク豐富外國製バーチャ靴、

男女大人及び子供用其他靴下、

日本橋通り二九

(新京市場外側

電話③六七六四

善の率仕?

ヤ

ます

開業致して居ります、倍舊の御愛願を偏に御願ひ致し今般南廣場營業所より左記新店舗に移轉八月一日より

轉

御

知

6

純焦ローマンズ

BB

のりとあらゆる偉人や、 恋 歯 監督の 一生」

時に酸々撮影を開始す

8888888888888

家の生涯を漁り盡した映畵が 家の生涯を漁り盡した映畵が 表際の地理を漁り盡した映畵が 名離の絶頂から失意のどん底 に突落され寂しい生涯を終る までを、實在の某名監督が、 とントを得て映畵化山た「或 を以書監督の一生」が近く東 が自らのがリデナル・シナリ が自らのがリデナル・シナリ が自らのがリデナル・シナリ

日五十月八

曜

錢

タ

H

午

後

時

日

新人ダンサー

野殿一新興一

製作軍爆

では目下北支事變

8

客順入初

## 福州映畵協會では異に處女作品として北支事製ニュース第 るが、絶讃を博してゐるので 第二輯日本語版二本、滿洲語 第二輯日本語版二本、滿洲語 第二輯日本語版二本、滿洲語

の犯罪」

「ランジュ

氏

ルの

エ等が助演してゐる

**兩洲映畫協會作製** 變映畵第二

ルノアノルの代表

カン・ドヌール質を授けられら鑑備家の最高名譽たるレギ たジャン・ルノア

作として『どん底』と共に名 高い傑作『ランジエ氏の犯罪 が東和商事の手で獲得された これは現代佛蘭曹の世相に於 とつて素晴しい悦

室貸

てるた▼『勝利』といふ勇ま ン女史といふ、誰かとぶつつ かつて骶手に轉んだりして勢 ●一白の人 人のため囮となりて利益を占めらるよ如し りて利益を占めらるよ如し こと庚と辛が吉 んとすれば却て進路を塞ぐ んとすれば却て進路を塞ぐ か吉間違ひ多し 張平大乙月宿 安安 安 超 日一十月 七月 八 後に報あり

目了一町野岩 店本 自丁二 町 祝 店支

## OLIVALENDENDE SERVENDE SERVEND せ

要る晩の「曙」の大勝間▼やをら帶の間から新聞の切抜を出してなんだかんだと言ってある鼓、切抜といふのは外ならぬこのサボテン欄でそれには當の本人のことが書いてあった、名は薬薬、例の三薬の一人だつた▼よく笑ふ妓は君子代ー「この子よく笑ふ妓は君子は、ひとつ笑はして見ざま

多數來場致しました 曹名フランスホテル 日本橋了 會 15 五二四八 

ż

## 3 誇を一滿全に



サービスの點亦御不満無き様の御客是非御來遊の上御高評の何率是非御來遊の上御高評の御客偏に御顫申上ず、 の御期 0

容を整へ 堂

勝の段御慶び中 申格 上げまする位様盆々の 御 健

ルー本突出付 三十五銭 三十五銭

六四四四 ②显表代目丁二可速浪蓮大

ミガシー シンガ 秀。完全 合にて 作品江 「時代は要求せり **ソガーのみが提供** 十四日より 入江たかすさ 愛 使用に耐へその価格の何倍かの 收益を齊します 一台のシンガ の時代が参りま 用 場 シンは一生の 八日まで 者 らつし 映優 唉はらば白 どけ咲はらば白 鄙待 本祭利用者は御婦人に限る 鑑 オンンガーミシン 至八月十八日 各等十銭引 券利用者は御婦人に限る 至八月十八日 各等十銭引 豊 豐 者シ 賞 枚一名限り 樂 割 割

電足午 氣 見踏 し

引

券

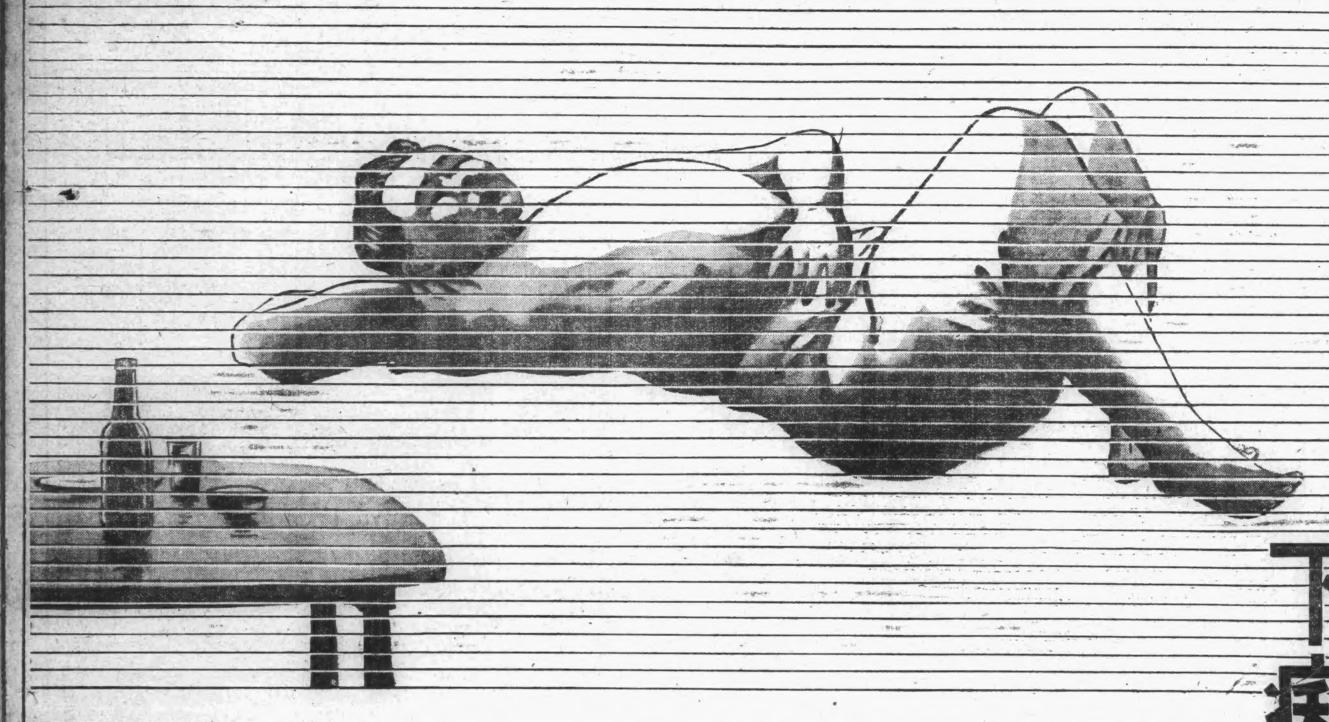
塲

引

會

機嫌 最 近 晴れ。けるの 金の値上り 0 趨 大連は無税港………。何れも從來の値段もの數十種に互る大量在庫品……何れも從來の値段もの數十種に互る大量在庫品……何れも從來の値段 勢 をご存知でせう きいたのさ

、間ス 大 經 御利用 L して居り 御商談に又は御家族樣に 200 よちつきのある 路 五 0 馬 程願ます ま



赤痢やコレラ、膓チブス等の傳染病にも胃されやすく、僅かな油斷から取返しの 等と無闇に冷いものを詰め込めば、それこそ覿面、下痢腹痛に惱まされ、一層痼 つかめ不幸を見る例は決して尠くありません。 疾を悪化させるやうなものであります。衰弱が加ければ抵抗力も鈍りますから、 暑いからこ言つて、望みのまゝに氷や果物、ビー 特にこの季節の攝生が大切であります。 腸カタルのある人などは、食慾不振から榮養が衰へ、目立つて夏痩せしますから 害を起しやすいものでありますが、平素から餘り胃腸の丈夫でない人や、慢性大 胃腸の機能が極度に衰へるこの頃は、健康な人でも無理が利かず、こかく胃腸障 עני サイダー、アイスクリーム

胃痛、腹痛、下痢、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退動異常を整へるとしもに、膓管内の有毒物質を吸着して體外に排變部に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め、弛緩を引緊め、分泌や蠕變部に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め、弛緩を引緊め、分泌や蠕寒変の侵入を未然に防ぐのが复の衞生常識ではありますまいか。 **操生も勿論愼まねばなりません。又、たとひ急性冒食物、過冷の飲食物、寢冷え等、急性胃膓カタルのな胃膓病の治療に努めることが第一で、暴飲暴食、** して機能の恢復を速めますから、 それで斯うした胃腸の非常時には、 が、 
「「です」でする。 
「であることなく治療し得るやう、治療薬アイフだけようでは、 
「も勿論慎まねばなりません。 
又、たとひ急性胃腸カタルに胃されて 
「も勿論慎まねばなりません。 
又、たとひ急性胃腸カタルの誘因となるやうな不 
「はんの飲食物、寢冷え等、急性胃腸カタルの誘因となるやうな不 
原則した 等にも打つて附けの治療薬であります。 、慢性胃膓病は素より夏の急性胃膓力不良、食慾不振等の諸症狀をも消退み、併せて、胸やけ、噯氣、惡心、內の有毒物質を吸着して體外に排 て、暴飲暴食、不消化物、腐敗したまづ治療薬アイフを服用して慢性的 力

\$

町之西谷水清區東市灰大 一 道 縣 山 市 連 大 六七華電 春五六七三連大春瀬

H

りあに店藥名有の所る到國全◀

(=)

(日 曜

る揚氣士の線全應呼相陸空

空軍大

「上海十五日淡園通」支那空軍の沒

さらされ、

を逐次た」き

は極度の不安に怯へたが、

きつぶして殆ど殲滅的打撃を與へ一切の制空權を確保した結果、居留民の生命財産安に怯へたが、地上部餘の果然な作戰と相俟つてわが海軍機精鋭が支那空軍根據地殊に十四日から支那空軍は共同租界の暴力的夜襲を決行するとさへ傳へられ、全市日設國通〕支那空軍の沒義道的爆擊に上海居留邦人三萬餘の生命財産は極度に不安に

之 聚三二酮 介勇忠 〇五社

長崎丸出版

## 「上海十五日發國通」南京ロイテル通信の情報によれば、わが空軍は十五日午後二時三回に亘 公軍、長驅南京を襲撃

# つて長驅南京を襲撃し、南京市の空軍根據地に多大の損害を與へた

事は十四日午後六時上海市長

坊子の事態悪化

財政金融産業に對し 政府に統制権限

土氣ます〳〵ふるひ縛板化裝備の威力を遺憾なく發揮してゐる・上瀬全線の職况は十四日と大差なく、我が陸縣隊は味方の艦艇と協力して依然として十籔倍に餘る柴敵に抗し断乎として守備線を確守し頃にわたり極めて低高度において果敢有效な爆撃を行ひ敵に莫大なる損害を興へた頃にわたり極めて低高度において果敢有效な爆撃を行ひ敵に莫大なる損害を興へた急襲し、折擠の暴雨を働いて視界約一千米の悪天候のうちに或は僚機を相失ひつゝ夫々敵の航空根據地をとりあつて、正午頃より午後三時急襲し、折擠の暴雨を働いて杭州、廣徳の爆撃を決行した我が海軍航空部隊は、十五日○○機をもつて目下南京および番陽湖西方南昌を大撃、十四日夕刻暴雨を働いて杭州、廣徳の爆撃を決行した我が海軍航空部隊は、十五日○○機をもつて目下南京および番陽湖西方南昌を大撃

が海軍機南昌を大撃空爆

機銃の掃射を浴せ十分の成果を敷めて躊躇した

- 五日愛國通』 関北方面よりの支那軍砲撃は午前十一時より方向- 五日愛國通』 関北方面よりの支那軍砲撃は午前十一時上海路の外へリス映畵館に命中、その破片で通行中の上海日日海路の中で変更は大道である。 内一弾は海道のウイリス映畵館に命中、その破片で通行中の上海日日海路の一般を表現した。 大田 一番に迫撃砲弾を集中しつよめ、内一弾は海道が大震を表現した。

も、わが軍○艦戦○機は敵陣に有敵砲兵陣地より十五日正午頃虹口

支那機の上海進撃不可能

『瓷図通》十五日拂襲八字橋附近の戦闘は極めて猛烈で敵は窓波的打撃を與べ動搖をおこして退却する敵を追撃中である。

て左右兩腕に敷ケ所の傷を負つたが、なほも屈せず部下の一酸國通】○○部職の溃胎兼吉兵曹長は激職地八字機附近の

最後の六番機は蕭座の際大

/那空軍爆擊

一飛行場を爆撃 Remain Remai

**擊墜、五機行方不明** 

南方に選走した。なほわが○○艦には命中せずの関通》十五日午後三時十分と同四十分の二回敵機一豪で○○艦上に現

もなく破壞され、同方面は殲滅的打撃を受けてゐる模線であるり江灣の上海市政府は完全に 破壞され、附近一帶所間通信區も 上海市政府は完全に 破壞され、附近一種所翻通信度も見る影上海市政府方面 通ご +四日夕来の 近、土海十五日發國

情事分館員のみ銭留帳務を執ってるたが、十日以來使用人 に逃亡し支那民衆の態度悪化 し市中を巡邏する日本書官の 進行すら妨害されるに至り事 態値度に悪化十五日館員全部

職とうもに南京に在留するわ

汽船に避難か

**▲中橋鎌二氏(長津江水力** 

商都附近の内

局の敵部脈本部を目

**学、元氣百倍した我が將兵を決行し後方陣地を完全に** 

なり、大體九月中旬これを羽なり、大體九月中旬これを羽なり、大體九月中旬これを羽ない。 生、會期は臨時觀會の重要性 は、自期は臨時觀會の重要性 は、自用は自己なるものとみ

臨時議會召集期日は

十三日参議府の諮詢を經

第一項

一歲總計

金

細計

第一目

國わ

際的救恤

布さる

加

豫算

ア、ヤウエ

第一队

國債金收入

第一項

館一目

二百萬圓緊急支

出

北支方

者

は

分證

明書

日の参議所の諮詢を中一日の審議の件を上程可能ならびに國債金特別の件を上程可能の件を上程可能の外を上程可能がある。

入國債金

第一目

第二準備金 至0,000

第二項

第二準備

第一目

度一般會計追加豫

歲出

經常部經所管

第一項

北支事

是公司、100mm

第二十款 地 總務廳所

北支事件 計

100,000

移平

關東局警務部長談

發前に所轄警察署で

Rは左の如き談に就き るるが之に就き のるが之に就き

第十款

國庫準備

第一目

北支事

では、「公司」

第二目校尉官俸給 10 天公 第二目校尉官俸給 15 天公司

関東局警

情勢に鑑み

第一項

第一準備金 1、1100、000

第二項



建國 統帥權を破壞する結果を招來 一精 一六事件 10

理

3

紀眞に厭

あるが、 中村照夫禁錮コー 河 拘留

一般のでは、 のでは、 ので

一こ 

「大きな等れるとでは、 

「大きな等れるでは、 

「大きな等れるでは、 

「大きなで、 

「大きなが、 

「大きなで、 

「大きなで、 

「大きなで、 

「大きなで、 

「大きなで、 

「大きなで、 

「大きなが、 

「大きなで、 

「大きなので、 

「大きないの、 

「大きないの、 

「大きないの、 

「大きないの、 

「大きないの、 

「ないの、 

「ないいの、 

「ないいの、 

「ないいの、 

「ないの、 

「ないの、 

「ないの、 

「ないの、 

「ないいの、 

「ないいの、 

「ないいの、 

「ないい

前等算を投資を発生した。 一大談にに員等ない。 一大談にに員等ない。 一大談にに員等ない。 一大談にに員等ない。 一大談にに員等ない。 一大談にに、 一大談に、 一大談に 一大談に

一般場に で選に従り 城縣 署

で志願した胸のすー三名が邦人運轉一億一心と王道 ・三名が邦人運轉 変通祖合、 一山名住縣

名が從軍 関を開放するのに消く終験し が健康するのに消く終験し が健康するのに消く終験し が健康するのに消く終験し が健康が現在が知事を繋げて神州建園を が関連を繋げて神州建園を が見てかるのに消く終験し なった原因は友邦日本 は、自然の、たき中原年 は、自然の、たき中原年 は、自然の、たき中原年 は、自然の、たき中原年

に軍備を有する嬰 放衆統役事件は一下 が発展に拍車をかける反ファ

軍用列車 らか 組織 武器掠奪 組織

專

體

等は日満一徳一心の精神に 基ぎ一命を捨てることを名 手として從軍を志願するも のである との意の從軍志顧書に連名血 との意の從軍志顧書に連名血 つ血

八運轉手十三名

日満一徳一心の精神に基く

滿人最初義學

極東の

ソ

分子

も轉名に こ て双戒縣公署に出頭、吳縣長 に從軍志願書を提出した、吳 中應從軍許可の返答を保留し 直ちにこの冒施省長に報告指

和として各方面にセンセイシ れとして各方面にセンセイシ

吉.\*\* 十陸

角職 間部氏 電風の特出と枕を並べて
上別な離死を遂げた朝日新 配社特証負岡部孫四郎氏に對 し七月廿五日附を以て軍脇に 命ずる冒の離令が發せられ、 十三日川岸部隊より頭知かあ

1 これを 1 これを 2 では 1 これを 2 では 2 では 2 では 2 では 3 では 5 では 5

1に民力にる常青野志、續そ北回請この間すせを人年し杉同日るまである。 れき側るさるの野子は四日のまである。 な證のりで設務 てでな急取規此事へへにに 若あ別取資扱則のでるす照行 し證明書を携帶しないに規則を制定してそれに表別を制定してそれに表別を制定しないのが適富であるがあり又斯をおれたからと云

**第三艦隊司令長官長谷川淸** 第三艦隊司令長官長谷川淸

さきに新京海及會から第三機
耐令長官に宛て激陶文を打電したが長谷川司令長官が次
の如き返信が国き會員の一同
を感激させてゐる
神度、今次の事選に對し早
が感激に耐べず候、將兵一
り感激に耐べず候、將兵一
り感激に耐べず候、將兵一
の難りに信倚し元氣旺盛の
変のでは過じを関なる銃後
なのなくに御座候、先づは
での如くに御座候
が

屋洲海 **国具建** 向スレバ銀二町紀

から返信を合うである。

司令長官

回



落成配念武道大會戰績

久木松菊坂政陸廣迫島久伊訓日田榊角萩泉 總軍 窓軍 完光村本島本局《澤野倉野藤所商畑 谷尾

水丸釜森岡大廣迫島久伊學日 水丸釜 同 校滿 唯野杉床 養野杉床井崎學澤野倉野藤 商准野杉床

〇〇二〇二 久木松菊坂

田川田川田憲光村本島本

10二十〇二 要示未澤川

沼倉原田又

野杉床井崎

笹戸部

日

組A

勝

10年 A (五一一回 元 一一一回 元 一一一四 元 一一一四 元 一一 大田原 村 一一二 両 村 版 丘

日一日

一一一一日一日一日一日一日一日一日一日一日

五日夕方本社を

を一箱を寄託したが學生の愛國熟 一類四十四銭と歴草の銀紙一 動れ國防恤兵慰問金として発

第

水泳會開催 回敷島高女 きのふ三少年が本社寄託

と慰問

献

金

一現品下見

康徳四年八月廿一日午前十時 野神村自動自轄車 田時八月十九、二十日自午前九時 至午後三時 三十日自午前九時

南菲納は電三ヶ六四二 入札保證金 百分 入札場所 宮內府

宮內府內務處需用科

百分ノ五以上

室貨

炊事、入浴の設備あり

日本橋アバ

五三四人

尾波谷蒲立庭 田上 野田中 田田元田田橋局

公女 銀署A

要く三一の後衛い 方の後衛い 一一の後衛い 一一の発衛い

因といへやう 医といへやう 年は鴫の繁殖狀態も上乘 勝りけ李

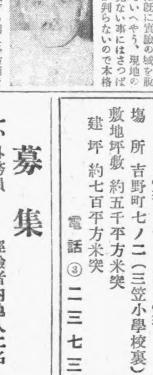
いす九十餘度 いずの間にかいずの間にから で切つて飽く 選れて九月一日から翌年四日 大が公布され州外より十五日 たが公布され州外より十五日 とが公布され州外より十五日 とが公布され州外より十五日 とが公布され州外より十五日

ら解禁 が、法権の全面的 記では徒らに度物 一の獲物は朝飯前 こめる、次に初綴 では徒らに度物 は困難な狀態に 々の事情により る新京附近は一 を追ひかけ一團を誰可したと がこの議ぎに何事ならんと後

即 中であるが未だ遠補されない 響察署では非常線を張り追跡子 を察署では非常線を張り追跡子 最近市内に頭々として新臺車 目轉車泥棒捕る

的に探続する前に各方面で 現地の情況を何つて緒口を 現地の情況を何つて緒口を 大體今度は硫化銅その他統 化鍍物の探線が目的である なほ一行は一柄日滞京の後い よく 吉林へ赴き山地建査に 乗り出すことになる 【富篋は





===

3

二三七三

検渉申上可き處下略儀不取敢以 検渉申上可き處下略儀不取敢以 に間は何分とも信島の御引立の 候間は何分とも信島の御引立の に関連を以て全 を以び申上候御終禄を以て全 を以び申上候御終為留守中

慶應

五六六九

お希望者履懸書携帶本人到京永樂町富久屋洋服店迄來 第京吉林市内 - 確實すれ保護人を 、裁縫熟練工 日 満 人 市内ニ確實ナル保證人ヲ要ス 人數名

青林滿州國官更消費組合 消費組合 部

家 庭 保險は大きくて確實なに保險 田農婦

次回後の取扱は 電話(三)五六三〇

栄ある球史に熱戦

體に副賞を授興し、上田本社代表の挨拶あつて午後六時半晴れの大會を終了した、社場内を沸きたゝせ白球四人を纏つて飛び、續出する妙技に觀樂を魅了しつゝ接が續けられ、結局興飙Aチームが電業以下の强豪をなぎ倒し遂に本年度大會の築が續けられ、結局興飙Aチームが電業以下の强豪をなぎ倒し遂に本年度大會の築が續けられ、結局興飙Aチームが電業以下の强豪をなぎ倒し遂に本年度大會の築が續けられ、結局興飙Aチームが電業以下の强豪をなぎ倒し遂に本年度大會の築が續出した、試合終了後直ちに賞品授與式を引ひ受ある武部闘乗局總長盃は上田社代表より優勝国置を捌戻の延珠日和に惠まれ社主権第二国全新京各個所對抗敗式庭球大會は晴天無国絶好の庭球日和に惠まれ社主権第二国全新京各個所對抗敗式庭球大會は晴天無国絶好の庭球日和に惠まれ 軟式庭球戰終

戰

續昨

田

電氣探鏃法の

新京唯一の

松原博士

問記棒として札削きのもので 総匿してゐたもので自轉車專 教台の自轉車に乗つて同所に れ事で勇寡に出ては物取した れ事で勇寡に出ては物取した

製品を

廣仲 狂介 なり 至急居所知らせ かい 軍事闘

綠

醫

院

長春大衛三〇二護國般若寺

古

勝

3

九

一六

が提活動性が握く機敏に造 がなる午後に弾を残すやう 心掛ること

六人組置盗 京都帝國大學理學宗教授恐原原都帝國大學理學宗教授恐原學博士は日本學術振興會《員として吉林省一帶の電氣探鎖型平八郎、中林一孝の兩氏を伴ひ十五日午後一孝の兩氏を伴ひ十五日午後

日本學術に

貸家又は賣家

御知らせ、 神京祭安大路110 電型11-1へ0六 第11-1へ0六 第2222年時元後午

二十錢一番の物 を包まる

實用御家庭用

梅王石鹼土

セン)

京新

太

信

晝間略仕

特に皆様へ 壽しの 立喰 氣分の新八 給五

七馬路永康莊地階 給 五 定 十 人 後本人來談 を求む 12 階 收 Ξ 入 +ル あ 1

説的に正し

勝戦

7電業

せに

単に 学に 野つ 宮松

内尾い

型特別等 ボーガ柄通りかいつ 事が新京百貨店附近路上を夏事が新京百貨店附近路上を夏事が新京百貨店附近路上を夏 り犯行の手口

原康百ら 商賣貨積 約店

Ĥ

法律事務所移轉

(新) 新京西七馬路第一朝日で(舊) 朝日通リ八三 (朝

THE WINDSHIP PROPERTY OF THE P 話②五三二 日 座 四 乔

理護 土土

電

お 喫茶と 吉野町中通平本洋行橫 H 定 三四 四

道中双大

(刑律の段)

それを尊主に聴きつけておいて。

そして腹樹の井へ手を突とん

「コン特をのか

「なんだ、天下の一大郷だ……はなって豊富な……長今既結さまがおとしになって韓用

太助は、先に立つて記る。」

いらが密験へ飛びてんで行くぜっ

天

市権を枝町一ノー 職業紹介所

ねえといふなら

大学集

世では無の表面(詞)金銭 ・ の名は申されなが、私故に はれておよれは顔を上げ、詞には譯の有りさうな事と、 の名は申されなが、私故に を負ひ、一旦本腹有つたれど を負ひ、一旦本腹有つたれど を負ひ、一旦本腹有ったれど を負ひ、一旦本腹有ったれど を負ひ、一旦本腹有ったれど

※×。※×枚×物めぐり(十八)(※名占屋)※※<

て來たのむやないか」

定左出乗し GB

衛軍で最多二四五周手機タイプ印書は民刑訴訟會証設立

日之四町九ノ

宁行魔行 → **建** 

郎

実內

内他みやけ

ロシャ

は、何事が纏つたのだらうと、彼

ふ

十六日(月曜日)

N

金語機

四(三) 経済市況 (大連) 近(三) 経済市況 (大連) ラギオコメディ (鮮語) ラギオコメディ (鮮語)

六、五〇

七、〇〇 ユュース (東京) 七、三〇 講 演 (東京) 七、三〇 講 演 (東京) 冷しい庭の話 林塵博士 田村 剛 八、〇〇 大文字幽火實況 (京都) 大、三〇子供の時間 夏休みラデオ双六(第九日) 六、五〇コドモの新聞(東京) 六、五〇コドモの新聞(東京) 七、〇〇ユユース(東京) ニュース、告知事項 番組強告、(新京) 冷しい庭の話 松並 季喜

時近い頃でし

の親分のところへ行つて、わけを 「では、この一件を、大久保老人 えよ。とれから駿河島 してみると、質能のやかましや大 の場を入の鍵なんかへは、あまり 行きたくはありませんが、太助が

本連中がやつて来て、しきりに医 

長海專門 三省堂製本所

**本會へ** 

お茶道具はお茶道具は お茶と

宋松接骨院

大和運輸 別越及継続土口のでは3六九〇 職公司

クエン酸 電の五三九五上 柿 准 園原薬

一泰公司 中国中

はれるす



義太夫さわり 東京と大阪から

の競

伽羅先代萩(御殿の段) 三味線 鶴澤清一 の廻り、備幹まで養拂ひ、悲しい金の才覺も男の病ひが治しい。 かの砂薬をどうが たさ、先程のお唱した金銀づれ えしより、あの砂薬をどうが えしより、あの砂薬をどうが れと、思ひ盡しが身の因果…

管原傳授手習鑑 三味線 豐澤小住

証の、平山熊谷討取れと、 一際勝れし耕 でが指力すべきが、さしもの平 に極め、下山熊谷計取れと、 を組みを制力が、されば御飯を指し とを組動をあったる身の思ひの絵り とを組動ながら助けるは、、 でにどうと落ち のはより整高くへ同が、されば御飯を を組動ながら助けるは、大の を記述けまったる身の思ひの絵り とを組動ながら助がある。 でもおりにどうとなったり、還せ を組動を高くへ同りととと落ち のにをありまさんでと を記述けまったる身の思ひの絵り を記述が、されば御飯を立直し を記述が、されば御飯を を記述が、されば御飯を を記述が、されば御飯を を記述が、まれば御飯を を記述がら助けるは、一、 を記述が、またる を記述が、またる を記述が、またる を記述が、またる を記述が、またる を記述が、まためで を記述が、またる を

漫…談 洲土產

(尼ヶ崎の段)

「うちの親分と深た日にや、天下 コート まが三度の既より好きで、 るんだ。だからよ、こんな知り出

言ふより早し、太助は記念を突 『今院わア・大将は居るかい』、「 太助が線を注をつった動ひで、 で吹鳴りとみました。 「なんだ職々しい。また喧響でも

『冗談ぢゃねえど獣屋さん。為つ 以の 大事出来だとい

日本タイプ综合教授 日本タイプ综合教授 新京新役格(寄都キネ・節) 曹留タイプライター発州 間裏所 (2)回園五二二等 (2)回園五二二等 タイピスト集群

本情流小數 教授幸清流小數 教授 中立所就町太子 堂 大之所就町二十 堂 大之所就町二十 堂 大人 カベン店

第三八二八 玉 江 看板

邪は

電話3五六六九番 派遣婦會

**慶應看護婦會** 

電話開通 (3)六四〇二 目下大多忙に付 會員大募集

水樂派遣婦會







**今辨慶** 

() 時間

東三馬路線電表下 東三馬路線電表下 東三馬路線電表下 東三馬路線電表下





